

西条市にできる新しい高校の校名候補

※50音順

【東予高校の校地にできる新しい高校】

- ① 愛媛県立（^{いしづちじつぎょう}**石鎚実業**）高等学校
- ② 愛媛県立（^{いろはそうごう}**彩華総合**）高等学校
- ③ 愛媛県立（^{おうか}**桜果**）高等学校
- ④ 愛媛県立（^{さいか}**才華**）高等学校
- ⑤ 愛媛県立（^{さいじょうぎじゅつ}**西条技術**）高等学校
- ⑥ 愛媛県立（^{さいじょうそうごうかがく}**西条総合科学**）高等学校
- ⑦ 愛媛県立（^{とうよ}**東予**）高等学校
- ⑧ 愛媛県立（^{とうよぎじゅつ}**東予技術**）高等学校
- ⑨ 愛媛県立（^{とうよこうか}**東予工科**）高等学校
- ⑩ 愛媛県立（^{とうよそうごう}**東予総合**）高等学校
- ⑪ 愛媛県立（^{とうよそうごうかがく}**東予総合科学**）高等学校

※ 地域の中学生や高校生による投票結果を参考に、準備委員会で協議し、校名案の最終候補を決定することとしています。なお、準備委員会において、複数の校名案を参考に新しい校名案のアイデアを出す場合もあります。

【東予高校の校地にできる新しい高校について、中学校・高校から提出された校名案及びその理由等】

※50音順

校名案 ※（ ）は読みがな		中学校や高校から提出された思いや願い、考えた理由
愛媛県立	石鎚実業 (いしづちじつぎょう)	高等学校 石鎚山のように立派な高校になってほしいという思いを込めました。実業という言葉には、生産的・経済的な事業という意味があります。
愛媛県立	彩華総合 (いろはそうごう)	高等学校 「彩」には、一人一人が能力や個性を発揮できる学校になってほしいという思いを、「華」には、才能の華が咲き誇る学校になってほしいという思いを込めました。
愛媛県立	桜果 (おうか)	高等学校 たくさんの優れた才能が集まり、新しい社会を切り拓く人材を育てる新校で、桜のように美しい花を咲かせ、果実をしっかりと実らせてほしいという思いを込めました。
愛媛県立	才華 (さいか)	高等学校 優れた才能が集まる学校になってほしいという思いを込めました。
愛媛県立	西条技術 (さいじょうぎじゅつ)	高等学校 様々な分野に特化した多彩な学科において、生徒一人一人が高度な専門的技術や技能を習得し、将来、全国各地で優秀な技術者として活躍してほしいと思いました。
愛媛県立	西条総合科学 (さいじょうそうごうかがく)	高等学校 学校のある地域と学校の特色が名前に入っていて分かりやすいからです。また、新校は、さまざまな知識を学んで、地域社会に貢献できる学校だからです。
愛媛県立	東予 (とうよ)	高等学校 地域の名前をそのまま残してほしいと思いました。
愛媛県立	東予技術 (とうよぎじゅつ)	高等学校 専門的な技術を学び、その技術を様々なところで生かすことができると思い、「技術」という言葉を名前に入れました。
愛媛県立	東予工科 (とうよこうか)	高等学校 工科とは、「工業や工学などの専門的な学業、学科」という意味なので、工業などの専門的な分野が中心の新しい高校に合っていると思います。
愛媛県立	東予総合 (とうよそうごう)	高等学校 「東予」にできる学校で、東予（工業）・丹原（農業）・小松（家庭）の学科の特色に加え、総合学科も創設され、たくさんの学びや出会いがある学校をイメージしました。
愛媛県立	東予総合科学 (とうよそうごうかがく)	高等学校 東予地域に密着した学科（農業科、工業科、家庭科）と総合学科を兼ね備えた多様な学びが充実した学校として、東予の産業に寄与できるイメージで名付けました。

【振興計画における仮称】

愛媛県立	西条総合科学 (さいじょうそうごうかがく)	高等学校
------	--------------------------	------